



# 海老沼小だより

～かしこく やさしく たくましく～

11月号

平成28年10月27日

さいたま市立海老沼小学校

～一人ひとりの心が通う学校や地域に～ 「心を潤す4つの言葉」

校長 原田 守 康

少し前のことになりますが、本校に81歳の女性から次のような電話がありました。

買い物が終わって帰る途中、道がわからなくなり、道の脇に困って座っていたそうです。そこに海老沼小5年生の女の子が通りかかり、道に迷っていることを知り、交番に連れて行ってくれたおかげで無事に家へ帰ることができたそうです。とても優しい子に出会い、嬉しくて学校の電話番号を調べて電話したとのこと。名前を聞くのを忘れてしまって残念とおっしゃっていました。

小さな親切や手助けが、その人にとっては大変ありがたいことになります。

さて11月は、さいたま市「心を潤す4つの言葉」推進運動期間です。

「心を潤す4つの言葉（おはようございます、はい、ありがとうございます、ごめんなさい）」の推進運動では、児童・教職員・保護者・地域の方々が、積極的に気持ちのよいあいさつや返事、心をこめた素直な言葉を交わすことで、一人ひとりの心が通う学校や地域づくりを目指します。

朝、元気よく「おはようございます」と言葉を交わせる子も多い中、言葉のない子も見られ、地域の方が心配されることがあります。

11月に向けての朝会では、私はあいさつについて次のような話をしました。

『○「おはようございます」と大きな声であいさつをするだけで気持ちのいい一日を始めることができます。あいさつはするのもしられるのも気持ちがいいものです。昨日、いやなことがあって暗い気持ちが残っていても大きな声であいさつをしているうちに気分が晴れてくることもあります。あいさつを続けることで気持ちが前向きになっていきます。

「おはようございます」とあいさつをしている人には笑顔が見られます。あいさつをすると自然と笑顔が増えることもすごいことです。

○大人になってあいさつのできない人がいます。あいさつというのは礼儀の基本であり、本来できていなければいけないものです。あいさつができるということは、簡単なことのようにですがこれは「常識がある人かどうか」を判断する1つの材料になります。

○あいさつは会話のきっかけになります。人と話す機会が少ないといやなことがあったとき誰かに気持ちを伝えることができません。そのためあいさつを日頃からしっかりと、話せる人をたくさん作る大切が必要です。

○あいさつのすごいところは、効果が大きいわりに簡単に今すぐ始められるところです。

「おはようございます、こんにちは、さようなら、はい、ありがとうございます、・・・」

あいさつは、いつでも、どこでも、身近なすべての人に対してするようにしましょう。(途中略)』

話題は変わりますが、5年生は26・27日に盆栽体験授業を行いました。大宮盆栽協同組合の講師のもとで、盆栽の見方・育て方を学ぶとともに実際に一人一鉢、道具を使って盆栽を作製しました。枝を折らないように慎重にいてねいに形よく剪定する等、苦心していました。5年生が育てていく盆栽は 来年度4月27～30日に開催される世界盆栽大会でメイン会場のさいたまスーパーアリーナに出品・展示されます。(NHK総合 首都圏ネットワークの番組で10月28日、午後6時10分～7時の中で本校の盆栽体験授業が放送される予定)